

林 智良
法学研究科・教授

【研究】

令和3年度は、それ以前に投稿・校了しながらコロナ禍等で公表が滞っていた論文類が一挙に公開された観があり、一見して知的生産性が上がったように見える。ただ、その内実は令和元年―2年度の成果が後ろ倒しになったものである。ひきつづき安定した知的生産を心がけたい。公刊成果のうちで特に挙げたいのが、ベルギーで公刊されているRIDA誌への論文掲載である(査読あり)。他に「阪大法学」誌、「神戸学院法学」誌に論説を各一本、「ローマ法雑誌」誌に書評一本とオンライン国際会議の司会担当記、「法制史研究」誌に書評一本を掲載することができた。いずれの業績についても詳しくはResearchmapの林関連データをご覧いただきたい。他に法制史学会総会において司会を務めた。2021年12月には、チリカトリック大学主催のオンライン学会にて司会を務めた。

【教育】

全学共通教育科目「法の世界」、法学部専門科目「法学の基礎(オムニバス担当)」・「ローマ法」・「専門演習」、大学院法学研究科科目「ローマ法」・「ローマ法特殊講義」、他に「日本における公法私法の争点(英語開講、オムニバス担当)」を担当した。

【管理運営】

国際公共政策研究科講座担当、全学共通推進機構兼任教員、法学教官会幹事を務めた。

【社会貢献】

奈良県上牧町の政治倫理審査委員を務めている。劇団清流劇場(一般社団法人)主催の勉強会において、古代ローマ演劇に現れた当時のローマ人の規範意識及び当時の芸術活動と政治について講演した。対象は一般人及び演出家・俳優・音楽家・文学研究者であった。関西六大学準硬式野球連盟会長を務めて、理事会及び開会式等に出席した。